

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころねキッズ		
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 1日		～ 令和 7年 3月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 1日		～ 令和 7年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもたちに寄り添った共感的な支援ができています。また、保護者とコミュニケーションが図れておりお子様のことについてしっかり情報共有ができています。	こどもたちの状態をしっかり観察し、支援内容にフィードバックするようにしています。児童波立管理責任者に支援内容を確認し、スタッフ間でもチームとなり丁寧な支援を心がけています。	こどもたちにとっての最善とは何かを考えながら、児童発達支援管理責任者の指導の下、よりよい支援ができるようスタッフ間で今まで以上に連携を図りたいと思います。
2	こどもたちが安心感を感じながら楽しく通所できています。	日々変化していくこどもたちをチームで支援することにより、安定した心ができるように申し送り等も密に行い毎日の配置を工夫しています。	これからも、こどもたちに必要な療育ができるように集団、個別の活動やイベント等を考えていきます。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故対応、災害対応、安全管理体制等の緊急時の対応マニュアルは整っており、定期的に訓練も行っている。保護者の方への情報が伝わりにくい状況となっている。	保護者の方へ必要な情報発信を行っていく必要がある。	個別で説明させていただくこととほかにも別の手段で情報発信をしていけるか検討する。
2	保護者等家族支援が少ない。	保護者参加型のイベントが少ない。 望まない保護者も一定数いたため。	自由参加とし、保護者参加型のイベントを検討する。
3	学童や地域との交流が少ない。	学童との交流が新型コロナウイルスの影響等ですることができなかった。また、交流を望まない保護者もいるため。	今後は、感染症の予防を図りながら交流の機会を作っていく。(保護者に意見を聞きながら)